Catalyst Dx 分析装置
Catalyst One 分析装置

お使いのCatalyst Dx*またはCatalyst One*化学分析装置は血清、血漿、全血、または尿サンプルを分析するように設計されています。最大の精度を確保するには、血液化学パラメーターを分析するときに検体を常に正しく準備することが重要です。

詳しい手順につきましては、お使いの操作ガイドをご覧ください。

全血サンプル（Catalyst* ヘパリンリチウム全血セパレーター）

1. 採血前に、全血セパレーターの緑色のキャップを外してください。

2. プレーンのシリンジで採血後、凝固を避けるため**直ちに**シリンジから針を外し、**未処理**の全血サンプル0.7 ccをヘパリンリチウム全血セパレーターに移してください。
ヒント：セパレーターの目盛りを使用して適切な容量を確認します。

3. 全血セパレーターを5回以上水平に円を描くようにゆっくりと回して、全血サンプルと抗凝固剤を混和してください（**転倒混和したり、振ったりしないでください**）。
注意：セパレーターを検査器にセットする前に、キャップを外してください。

全血セパレーター推奨事項

セパレーターの最低にしてください（0.7 cc）。

注記：分離した検体はヘパリンリチウム全血セパレーターで使用できます。

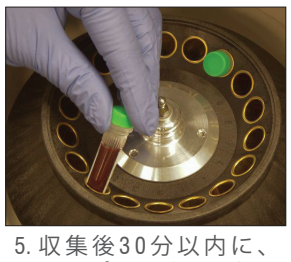
血漿サンプル

1. 適切なヘヘパリンリチウムチューブをご使用ください。
EDTA或いはヘパリンナトリウムを使用しないでください。

2. 適切なシリンジをご使用ください。

3. ゆっくりと採血を行ってください。必要に応じて移しください。†ヘパリンリチウム比が正しくなるように適量のサンプルを移してください。

4. サンプルを**30秒間**ゆっくりと転倒混和します。



5. 収集後30分以内に、サンプルの遠心分離を行います（遠心分離機の設定と時間に関しては、操作ガイドをご覧ください）。

6. 遠心分離後、すぐに検体300 µLをCatalyst*検体カップに移します（血漿収集中に細胞を吸引しないように特に注意してください）。
下記の「検体カップの推奨事項」を参照してください。

注記：チューブキャップの色は地域によって異なる場合があります。
†真空採血管を使用する場合、サンプルが真空チューブ内に自然に入るのに任せます。

血清サンプル

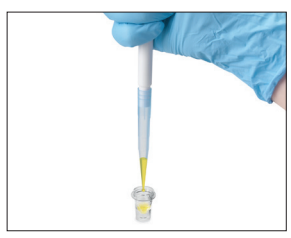
1. 適切なチューブを使用してください。

2. 適切なシリンジをご使用ください。

3. ゆっくりと採血を行ってください。必要に応じて移しください。†

4. サンプルを**20分間**以上凝固させます。

5. 収集後45分以内に、サンプルの遠心分離を行います（遠心分離機の設定と時間に関しては、操作ガイドをご覧ください）。



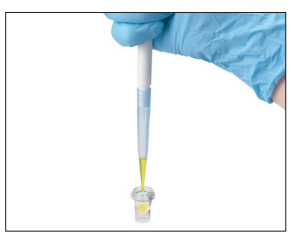
6. 遠心分離後、すぐに検体300 µLをCatalyst検体カップに移します（血清収集中に血餅を乱さないように特に注意してください）。
下記の「検体カップの推奨事項」を参照してください。

注記：チューブキャップの色は地域によって異なる場合があります。
†真空採血管を使用する場合、サンプルが真空チューブ内に自然に入るのに任せます。

UPC比のための尿検体

1. 膀胱穿刺(推奨)、カテーテル、またはフリーキャッチ式で尿サンプルを採取したら、尿サンプルを使い捨てサンプルチューブに移してください。

2. サンプルの遠心分離を行います（遠心分離機の設定と時間に関しては、操作ガイドをご覧ください）。



3. トランスファーピペットを使用して300 µLの尿上澄みをカタリストサンプルカップに移動します右の「検体カップの推奨事項」を参照してください。

4. Catalyst*尿蛋白/クレアチニン比希釈液300 µLをCatalyst検体カップに移します。

サンプルカップ推奨事項

サンプルカップにサンプルを移す際は、気泡ができないよう注意してください。

© 2021 IDEXX Laboratories, Inc. All rights reserved. • 06-26905-03
*VacutainerはBecton, Dickinson and Companyの登録商標です。Catalyst Dx、Catalyst One、Catalystは、IDEXX Laboratories, Inc.、あるいは、米国および/またはその他の国における関連会社の商標または登録商標です。